

# 平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立西和佐小学校
校長氏名	岡本 博
作成日	平成31年2月20日

## 1 教育目標

強いからだと明るい心をもつ子どもの育成

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る。</li> <li>児童アンケートで「毎日の学習内容がわかる」90%を超える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童アンケート「学校が楽しい」95%を超える。</li> <li>児童アンケート「友だちと仲よくしている」95%を超える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活アンケート「毎日、朝ごはんを食べていない」児童を20%少なくする。</li> <li>県スポーツテストにおいて、全国平均を上回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている」90%に達成する。</li> <li>保護者アンケート「教育目標を具体的にわかりやすく伝えている」80%に達成する。</li> </ul>
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)基礎学力の向上を図る。</li> <li>(2)コミュニケーション能力の向上と活用を通して生き生きと主体的に取り組む子どもを育成する。</li> <li>(3)キャリア教育の整備を図る。</li> <li>(4)教員の指導力等の向上を図り、子どもの学力を伸ばす。そのために外部から指導や助言を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)人権・同和教育を推進するとともに、人権意識の高揚に努める。</li> <li>(2)学校や家庭での読書活動を推進し、ゆたかな心の醸成につなげる。</li> <li>(3)地域や関係団体、育友会と連携しながら、豊かな体験活動を推進するとともに道徳教育を充実させる。</li> <li>(4)教職員と子ども、子どもどうし、教職員と保護者のよりよい関係を通して、お互いの信頼関係を築く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)体力向上の推進に努める。</li> <li>(2)基本的な生活習慣の確立を図る。</li> <li>(3)危機回避能力の育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)授業参観や啓発活動を通して保護者や地域の方々に子育てや教育に対する意識を高める。</li> <li>(2)教職員の資質向上や意識改革を図るとともに、その取り組みを広く伝える。</li> <li>(3)子どもの様子を積極的に発信して保護者地域の方々に知らせる。</li> </ul>
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)読書や基礎タイムで、読書・漢字練習・計算練習などを入れ、基礎学力を伸ばす。</li> <li>(2)国語科で身に付ける話す力・聞く力・話し合う力・書く力と、総合的な学習の時間等で身に付けるコミュニケーション・スキルの体系的な指導を通して、確かな学力の定着と生きる力を育む。</li> <li>(3)キャリア教育のはじめの一歩として、教員から自分の生き方等の語らいの時間を持つ。</li> <li>(4)本年度も市教委客員指導主事の指導訪問を依頼し、研究授業を通して教員の指導力向上を目指す。</li> <li>(5)自主学習ノートに取り組み、自ら興味・関心のある課題を追及し、子ども自身で学びを広げる力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)家庭や地域・関係各位と連携しながら、講演会等も含めて、子ども一人ひとりの心に響く人権感覚の高揚に努める。</li> <li>(2)朝読書や「うちどく」などを通して、学校や家庭で読書活動を推進することでゆたかな心を育む。</li> <li>(3)児童の心に響く豊かな体験活動を行うとともに、「私たちの道徳」を活用する等道徳の時間を充実させて、子どもの感性を伸ばす。</li> <li>(4)学校の教育活動全体を通じて教職員と子ども、子どもどうしの心の交流を図り、お互いの信頼関係を築く。教職員は保護者と育友会との日々の連絡を通して、子どものよさを共有しながら心豊かな子どもを育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)他校の実践例なども参考にしながら、体力の向上を図るための方策について検討する。</li> <li>(2)「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。</li> <li>(3)避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)授業参観や学級懇話会・地区懇談会等を通して子どもの活動を広く知っていただくことを通じて、保護者の子育てや教育に対する意識を高める。</li> <li>(2)学校通信「西和佐っ子だより」や学級通信、学年だより等で、本校の子どもの様子を積極的に地域や保護者に知らせる。</li> <li>(3)学校開放週間等を通して、教育関係者の学校訪問を促し、教職員の資質の向上を図る。また、その取り組みを保護者や地域の方々に広く発信する。</li> <li>(4)学校評議員や学校関係者評価委員をはじめ関係各位と連携を図りてよりよい学校経営に努める。</li> </ul>
取組の結果【C】と課題	<p>県到達度調査において、5年算数の平均正答率は69.7%(68.3%)であり、県の平均正答率を1.4ポイント上回った。</p> <p>また、西和佐小学校をよりよくするためのアンケート結果において、「毎日の学習内容がわかる」については1、2年では77%(81%)であり、3～6年では87%(87%)であった。但し、前の数値は30年度、カッコ内は29年度の平均正答率である。</p>	<p>西和佐小学校をよりよくするためのアンケート結果より、「学校が楽しい」については、1、2年では90%(95%)であり、3～6年では93%(96%)であった。「友だちと仲良く」については、1、2年では92%(95%)であり、3～6年では97%(97%)であった。但し、前の数値は30年度、カッコ内は29年度の平均正答率である。</p>	<p>同アンケート結果より、「子どもは毎日朝ごはんを食べている」については、97%(96%)であった。県スポーツテストについては、体力合計点で比較すると、1年生男子で31.62(30.92)、6年男子で62.24(62.02)であり、全国平均を数ポイント上回った。また、1年女子で31.21(31.17)であり、全国平均を数ポイント上回った。但し、前の数値は本校の数値、カッコ内は全国平均の数値である。</p>	<p>同アンケート結果より、「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている。」については75%(79%)であった。また、「教育目標を具体的にわかりやすく伝えている」については67%(67%)であった。但し、前の数値は30年度、カッコ内は29年度の平均正答率である。</p>
改善方法【A】	<p>児童、保護者のアンケートの結果、概ね基礎学力の定着はついていないように考えられるが、家庭学習の時間が少ないという結果が出ており、このことについて学校と家庭が連携して取り組んでいきたい。本年度の全国学力学習状況調査については、すべての教科で、全国平均を4～8ポイント上回った。評価できるところはその取り組みを継続し、課題のあるところについては、全職員で共通理解し、次年度に活かしたいと考える。</p>	<p>道徳教育を通して、豊かな人間性を育て、人権・同和教育を推進していく活動や読書貯金などの表彰や朝の読書活動や「うちどく」など家庭での読書活動、さらに「にしわさ活動」の縦割り活動も今後も大切にしていきたい。</p>	<p>ここ数年の体力向上の取組みとしては、タイム走を取り入れ、持久力と瞬発力の向上を目指している。学年やクラスの実態に応じて、ルールを簡単にし、運動が苦手な子供でも楽しんで取り組めるようにすることで運動量を確保している。また、学校全体で休み時間には外で遊ぶように声かけをしている。次年度もこれらの取り組みを継続するとともに、すべての学年でも全国平均を上回るように取り組んでいきたい。</p>	<p>保護者アンケートにもあるように、「教育目標」や「子どもの活動の様子」などについてはわかりやすく伝えていく工夫などしていきたい。次年度も本年度と同様、地域との連携の中でたくさん保護者や地域の方々に来校していただける学校にしたい。</p>

## 3 その他の課題

・学校施設の老朽化が課題であり、改修が必要な箇所については、引き続き市当局へ要望していきたい。